



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日  
東

上場会社名 明和産業株式会社 上場取引所  
 コード番号 8103 URL <https://www.meiwa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大友 伸彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 主計財務部長 (氏名) 小林 敏弘 (TEL) 03-3240-9534  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	68,575	△8.8	597	△48.5	774	△43.4	900	△15.4
2019年3月期第2四半期	75,175	13.9	1,160	64.7	1,367	19.2	1,064	30.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1百万円( -%) 2019年3月期第2四半期 1,271百万円(△31.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	21.55	—	—	—
2019年3月期第2四半期	25.49	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	66,128	—	32,762	—	49.2	—
2019年3月期	72,150	—	33,277	—	45.8	—

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 32,521百万円 2019年3月期 33,033百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	—
2020年3月期	—	44.00	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	12.00	56.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	160,000	3.5	2,300	△12.7	3,200	△1.7	2,350	3.6	56.27	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	41,780,000株	2019年3月期	41,780,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	16,773株	2019年3月期	16,773株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	41,763,227株	2019年3月期2Q	41,763,227株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としているものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の影響や英国のユーロ離脱への懸念等により、総じて減速基調となりました。当社グループの重点国である中国においても、引き続き成長率が停滞しており、我が国経済においても、景気は低成長率のまま推移しました。

このような状況の下、当社グループは当連結会計年度が最終年度である3ヶ年中期経営計画「Next Stage 2019」に基づき、ポートフォリオマネジメントを推し進め事業戦略を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、685億7千5百万円と前年同期の8.8%にあたる65億9千9百万円の減収となりました。また、営業利益は5億9千7百万円と前年同期の48.5%にあたる5億6千2百万円の大幅な減益、経常利益については、7億7千4百万円と前年同期の43.4%にあたる5億9千3百万円の大幅な減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、9億円と前年同期の15.4%にあたる1億6千4百万円の減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は21.55円となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・売上高については、第三事業が増収となったものの、主に第一事業が大幅に減少したことにより、減収となりました。
- ・営業利益については、販売費及び一般管理費は減少したものの、主に第一事業の売上総利益が大幅に減少したことにより、大幅な減益となりました。
- ・経常利益については、為替差損の減少はあったものの、営業利益の減少ならびに持分法による投資利益が減少したこと等により、43.4%の減益となりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益が大幅に減少したものの、政策保有株式の一部縮減による投資有価証券売却の特別利益が増加したこと等により、15.4%の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメントごとの主な事業、事業内容及び主な取扱商品は次のとおりであります。

セグメントの名称	主な事業	事業内容及び主な取扱商品
第一事業	電池材料事業 資源・環境ビジネス事業 樹脂・難燃剤事業 医薬関連開発事業	電池材料 レアアース・レアメタル、環境関連 合成樹脂・難燃剤 原薬・医薬中間体
第二事業	石油製品事業 石油ビジネス開発事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤 海外事業開発
第三事業	高機能素材事業 機能建材事業	化学品原料、印刷材料、合成樹脂加工品 機能建材
自動車事業	自動車事業	自動車部品関連事業

① 第一事業

第一事業の売上高は、130億2千2百万円と前年同期の32.2%にあたる61億7千4百万円の減収、セグメント損失が、2億4千6百万円と前年同期から6億2千8百万円の減益（前年同期は3億8千1百万円の利益）になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・電池材料事業は、自動車用などの電池材料の需要の大幅な減少により取引が低調に推移した他、市況下落の影響により一部取引において損失が発生しました。
- ・資源・環境ビジネス事業は、環境関連が前年同期並に推移し、資源関連は低調に推移しました。
- ・樹脂・難燃剤事業は、難燃剤が好調に推移し、樹脂は低調に推移しました。
- ・医薬関連開発事業は、新規事業が実現しました。

② 第二事業

第二事業の売上高は、198億6千5百万円と前年同期の3.5%にあたる7億2千3百万円の減収、セグメント利益につきましては、4億1千9百万円と前年同期の5.9%にあたる2千3百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・石油製品事業は、潤滑油及び添加剤が概ね前年同期並みに推移しましたが、ベースオイルは需要低迷の影響を受け低調に推移しました。また、中国潤滑油事業は空調機業界向け新冷媒用の冷凍機油が増販しましたが、産業機械などの需要低迷の影響を受け低調に推移しました。
- ・石油ビジネス開発事業は、新規事業の開拓が進み、取引を開始しました。

③ 第三事業

第三事業の売上高は、344億6百万円と前年同期の1.4%にあたる4億6千8百万円の増収、セグメント利益につきましては、4億3千6百万円と前年同期の27.6%にあたる9千4百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・高性能素材事業は、加工フィルムが堅調に推移し、合成樹脂加工品は前年同期並に推移したものの、化学品原料が微減となった結果、前年同期並に推移しました。
- ・機能建材事業は、断熱材が順調に推移したものの、防水資材は低調に推移しました。

④ 自動車事業

自動車事業の売上高は、11億6百万円と前年同期の9.3%にあたる1億1千2百万円の減収、セグメント利益につきましては、1億3千3百万円と前年同期の37.5%にあたる7千9百万円の減益になりました。

これは主に以下の通り推移した結果によるものです。

- ・持分法による投資利益が減少したことにより、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、661億2千8百万円と前年度末の8.3%にあたる60億2千2百万円の減少となりました。また、負債は333億6千5百万円と前年度末の14.2%にあたる55億7百万円の減少、純資産については、327億6千2百万円と前年度末の1.5%にあたる5億1千5百万円の減少となりました。

この結果、自己資本比率は49.2%となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・流動資産が492億8千4百万円と前年度末の10.1%にあたる55億5千3百万円の減少となっておりますが、これは、主に売上債権が回収されたことに加えて、業績が低調に推移したことにより、売上債権、たな卸資産の増加が抑えられたものであります。流動負債では、仕入債務が前年度末に比べて減少しております。
- ・固定資産が168億4千3百万円と前年度末の2.7%にあたる4億6千8百万円の減少となっておりますが、これは、有形固定資産を取得した一方で、主に保有する株式の市場価格が下落したことに伴うその他有価証券の評価額の減少と、政策保有株式を一部売却したことにより、投資有価証券が減少したためであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,409	7,442
受取手形及び売掛金	42,904	34,730
商品	6,885	6,584
その他	812	707
貸倒引当金	△173	△179
流動資産合計	54,838	49,284
固定資産		
有形固定資産	696	957
無形固定資産	141	133
投資その他の資産		
投資有価証券	15,494	14,790
その他	1,095	1,078
貸倒引当金	△115	△116
投資その他の資産合計	16,475	15,752
固定資産合計	17,312	16,843
資産合計	72,150	66,128
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,380	25,126
短期借入金	4,622	2,709
1年内返済予定の長期借入金	133	630
未払法人税等	539	308
賞与引当金	603	590
受注損失引当金	—	203
その他	552	532
流動負債合計	34,831	30,101
固定負債		
長期借入金	522	6
役員退職慰労引当金	21	22
退職給付に係る負債	1,042	1,041
その他	2,455	2,193
固定負債合計	4,041	3,263
負債合計	38,873	33,365

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,024	4,024
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	23,288	23,686
自己株式	△4	△4
株主資本合計	30,070	30,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,157	2,737
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	282	△239
退職給付に係る調整累計額	△473	△444
その他の包括利益累計額合計	2,963	2,052
非支配株主持分	244	241
純資産合計	33,277	32,762
負債純資産合計	72,150	66,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	75,175	68,575
売上原価	69,638	63,680
売上総利益	5,536	4,895
販売費及び一般管理費	4,376	4,297
営業利益	1,160	597
営業外収益		
受取配当金	84	91
持分法による投資利益	317	246
その他	52	29
営業外収益合計	454	368
営業外費用		
支払利息	72	76
外国源泉税	27	41
その他	146	72
営業外費用合計	246	191
経常利益	1,367	774
特別利益		
固定資産売却益	49	—
投資有価証券売却益	—	397
その他	—	3
特別利益合計	49	401
特別損失		
投資有価証券評価損	—	23
その他	13	0
特別損失合計	13	23
税金等調整前四半期純利益	1,404	1,152
法人税、住民税及び事業税	374	384
法人税等調整額	△47	△144
法人税等合計	327	240
四半期純利益	1,076	911
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,064	900



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,076	911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230	△385
繰延ヘッジ損益	11	1
為替換算調整勘定	△127	△461
退職給付に係る調整額	54	30
持分法適用会社に対する持分相当額	25	△98
その他の包括利益合計	195	△913
四半期包括利益	1,271	△1
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,257	△10
非支配株主に係る四半期包括利益	14	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

持分法適用会社において、第1四半期連結会計期間よりASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

当該会計基準の適用については、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用し、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,196	20,588	33,938	1,219	74,942	232	75,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	23	26	—	86	0	86
計	19,233	20,612	33,964	1,219	75,028	233	75,262
セグメント利益 又は損失(△)	381	396	342	212	1,332	△22	1,309

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	1,332
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△22
セグメント間取引消去	22
全社費用(注)	35
四半期連結損益計算書の経常利益	1,367

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社経費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,022	19,865	34,406	1,106	68,400	175	68,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	55	12	—	115	2	118
計	13,071	19,920	34,418	1,106	68,516	177	68,694
セグメント利益 又は損失(△)	△246	419	436	133	742	△24	718

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	742
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△24
セグメント間取引消去	47
全社費用(注)	8
四半期連結損益計算書の経常利益	774

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。